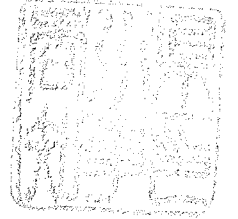


令和 3 年 3 月 12 日

一般社団法人香川県トラック協会
会長 楠木 寿嗣 様

香川県知事 浜田 恵造



「感染警戒期」から「準感染警戒期」への移行について

日頃より、本県の交通行政につきまして格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本県では、今月に入って以降、新型コロナウイルスの新規感染者が散発的に発生してはいますが、1週間当たりの新規感染者数は10人前後で推移しており、また、病床数のひっ迫具合も10%を切っているなど、県が定める「感染警戒期」の指標を下回る状況が続いていることから、3月13日以降、「準感染警戒期」に移行することとしました。

「準感染警戒期」においては、特措法に基づかない協力依頼という形で、引き続き、感染拡大地域への不要不急の往来を慎重に検討いただくことなどについて、県民の皆さま、事業者の皆さまに感染防止対策の徹底をお願いすることとしていますが、3月21日までとされている緊急事態宣言の対象区域（首都圏1都3県）への不要不急の往来は、特措法に基づく協力要請として自粛をお願いすることとしています。

つきましては、貴職におかれまして、知事から県民の皆様へのメッセージ『「準感染警戒期」への移行にあたって』（資料1）及び「準感染警戒期における対策（3月13日以降）について』（資料2）の貴社（団体）の職員の皆様及び関係先への周知及び感染防止対策の徹底につきまして、御協力をお願いします。

「準感染警戒期」への移行に当たって
特に、年度末・年度初めは注意を
～知事から県民の皆さまへのお願い～

昨年3月17日に、県内で初めての感染が確認されてから、もうすぐ1年となります。

この間、感染拡大防止と社会経済活動の両立のため、県民の皆さまには、様々なお願いを申し上げ、先月20日に「感染警戒期」に移行して以降は、県民の皆さまに、特措法に基づく協力要請として、感染拡大地域への不要不急の往来を慎重に検討いただくことなどをお願いしてまいりました。

改めて、県民の皆さま、事業者の皆さまが感染防止にご協力いただいていることに対し、感謝申し上げますとともに、現在も感染者の検査、治療に当たられている医師、看護師をはじめとする医療従事者の皆さまに対しましても、心から御礼申し上げます。

皆さまのご理解・ご協力のおかげで、今月に入って以降、新規感染者が散発的に発生してはいますが、1週間当たりの新規感染者数は10人前後で推移しており、また、病床数のひっ迫具合も10%を切っているなど、県が定める「感染警戒期」の指標を下回る状況が続いていることから、明日3月13日以降、「準感染警戒期」に移行することとします。

明日からの「準感染警戒期」においては、特措法に基づかない協力依頼という形で、引き続き、感染拡大地域への不要不急の往来を慎重に検討いただくことなどについて、県民の皆さま、事業者の皆さまに感染防止対策の徹底をお願いすることといたしますが、3月21日までとされている緊急事態宣言の対象区域（首都圏1都3県）への不要不急の往来は、特措法に基づく協力要請として自粛をお願いいたします。

中でも、これから迎える年度末・年度初めは、例年であれば、歓送迎会や謝恩会などによる会食の機会が増える時期であり、進学や就職、転勤など、不要不急ではない理由での人の移動が多くなる時期ですが、県内では、昨年この時期に、感染拡大地域との往来などが原因と考えられる最初の感染拡大がみられたほか、先の年末年始にかけても、人の移動や会食が原因と考えられる感染の急激な拡大がみられました。

私たちは、この1年間、新型コロナウイルスと闘ってきた中で、ウイルスの急所に対応できれば、感染の拡大は十分に抑えられることを学んでまいりましたが、現在、いわゆる変異株による感染拡大も懸念されている状況にあります。

ぜひ、この時期の行動が感染拡大の引き金とならないよう、年度末・年度初めを迎えるに当たって注意いただきたい事項について、次のとおり、私からのお願いとしてまとめましたので、感染が再び増加に転じず、減少傾向を継続させるため、改めて、県民の皆さまお一人お一人が、感染防止対策の徹底をより一層意識していただきますようお願いいたします。

年度末・年度初めを迎えるに当たってのお願い

歓送迎会、謝恩会、お花見、卒業旅行などの恒例行事は特に注意を！！

○実施する際は、感染防止対策を十分にとって

- ・少人数・短時間で
- ・配席を工夫、会話の際はマスク着用
- ・体調不良の方は参加しない
- ・大声を控えて
- ・飲酒する場合は、特に注意
- ・ガイドラインを守っているお店を選んで

○卒業旅行は、感染拡大地域を避け、混雑しない時期にいつもの仲間と楽しむ
(できれば県内で)

進学・就職・転勤などで移動する方へ

- ・移動前後の2週間は、「感染リスクの高い『5つの場面』」は避けて
- ・この時期のあいさつ回りは、オンラインなどで行い、対面はできるだけ避けて

なお、ワクチン接種については、本日からコールセンターを開設するなど、現在、各市町や医療機関、関係団体等と緊密な連携のもと準備を進めているところであり、円滑な接種が行われるよう県としてその対応に万全を期してまいります。

こうした感染防止対策を講じていただくことを前提として、社会経済活動の維持・回復にも取り組んでまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症の患者さんやその御家族、そして、治療にあたっておられる医療従事者やそのご家族などに対する偏見や差別につながる行為は、決して許されるものではありませんので、人権に配慮した判断や行動を心がけていただきますようあわせてお願いいたします。

令和3年3月12日

香川県知事 浜田 恵 造

令和3年3月12日

1. 県民への協力依頼等

(1) 外出について

- 感染拡大地域（新規感染者数が5人以上/人口10万人/週を目安）への不要不急の移動については慎重に検討するよう協力依頼
また、当該地域に移動した場合、帰県後14日間は行動記録を取るよう協力依頼
 - 外出する場合は、適切な感染防止対策を徹底して行動するよう協力依頼
別添1（省略）：気をつけていただきたいこと
 - 発熱等の症状がある場合は、都道府県をまたぐ移動はもとより、外出を控えるよう協力依頼
 - 業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドライン等に基づく感染防止策が徹底されていない施設等への外出を控えることを協力依頼
別添2（省略）：業種別ガイドライン
 - 厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を積極的にインストールするよう協力依頼
 - 施設や店舗等の利用、イベント参加の際、県が導入したLINEアプリ「かがわコロナお知らせシステム」を積極的に利用することを協力依頼
別添3（省略）：かがわコロナお知らせシステム
- ※ただし、感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、外出の自粛に関して速やかに必要な協力要請等を行う。

(2) 新しい生活様式の徹底について

- 「三つの密」の回避や「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を徹底することを協力依頼
別添4（省略）：「人の接触を8割減らす10のポイント」
（令和2年4月22日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議）
- 別添5**（省略）：「新しい生活様式（生活スタイル）の実践例」
（令和2年5月4日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、一部改正）
- 大人数での会食や飲み会を避けること、大声を出す行動（飲食店等で大声で話す、カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど）を自粛することについて協力依頼
- 会食をする際には、座席間隔の確保や換気などの三密回避を徹底するよう協力依頼
- 感染リスクが高まる「5つの場面」に留意し、そうした場面での会食については、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を行うよう協力依頼
別添6（省略）：感染リスクが高まる「5つの場面」及び感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫（令和2年10月23日、新型コロナウイルス感染症対策分科会）

2. 事業者への協力依頼等

- 業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドラインや県が策定した適切な感染防止対策に基づき、感染防止対策の徹底を図ることを協力依頼
別添2（再掲）：業種別ガイドライン
別添7（省略）：今後における適切な感染防止対策
別添8（省略）：飲食事業者の皆様へ「店舗等での感染防止策の確実な実践」
- 適切な感染防止対策を講じた上で、LINEアプリ「かがわコロナお知らせシステム」を積極的に導入・様式掲示するなど、感染防止対策を徹底していることを示す様式を掲

示することを協力依頼

別添 3 (再掲) : かがわコロナお知らせシステム

別添 9 (省略) : 掲示様式「新型コロナウイルスうつらない、うつさない」

- 在宅勤務(テレワーク)、オンライン会議などの積極的な活用により、出勤者数の低減に取り組むことを協力依頼。特に、この期間は集中的に協力依頼
- 出勤した場合には、座席間の間隔を取ることや従業員の執務オフィスの分散を促すことを協力依頼
- 時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による通勤等、人との接触を低減する取組みを推進することを協力依頼
- 事業所に関係する方が感染した際には、保健所の調査に協力することを協力依頼
- 医療機関及び高齢者施設等の設置者において、以下の取組みを実施するよう協力依頼
 - ・従事者等が感染源とならないよう、「三つの密」が生じる場を徹底して避けること
 - ・症状がなくても患者や利用者や接客する際にはマスクを着用すること
 - ・手洗い・手指消毒を徹底すること
 - ・パソコンやエレベーターのボタン等複数の従事者が共有するものは定期的に消毒すること
 - ・食堂や詰め所でマスクを外して飲食をする場合、他の従事者と一定の距離を保つこと
 - ・日々の体調を把握して症状があれば早めの受診をすること
- 介護施設等の設置者に対し、県及び高松市が当該施設従事者を対象に緊急に実施する一斉検査の受検に協力することを協力要請 ※法第24条第9項

3. 催物(イベント等)の開催

- 催物(イベント等)の開催については、「新しい生活様式」や業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染防止策を講じることを協力依頼。協力依頼に応じていただくことを前提にして、国の基本的対処方針等を踏まえ、催物(イベント等)の開催制限の段階的緩和の当面の方針に沿った参加人数等での開催を可能とする。

別添 10 (省略) : 催物(イベント等)の開催制限の段階的緩和の当面の方針について

別添 11 (省略) : 催物(イベント等)の開催にあたっての留意事項について

4. 県有施設等における対応

- 適切な感染防止対策を講じた上で、開館

5. 県の対応

- 感染事例に関する疫学的調査を積極的に進める。
- PCR検査の充実強化を図る。
- 県の新型コロナウイルス感染症対策予算を速やかに執行する。
- ワクチン接種の円滑な実施に向けて、各市町、医療機関、関係団体等と緊密に連携して取り組む。

6. 国の緊急事態宣言を踏まえた本県の対応

(別紙「国の緊急事態宣言を踏まえた本県の対応」のとおり)

国の緊急事態宣言を踏まえた本県の対応について

令和3年1月8日
令和3年2月3日改正
令和3年3月5日改正

○対象期間：1月8日（金）～3月21日（日）

1. 県民への協力要請等（法第24条第9項）

(1) 外出について

- ・緊急事態宣言対象区域への不要不急の往来自粛の協力要請
- ・日程の延期ができない、また、オンラインなどで代替がきかない不要不急以外の用件で緊急事態宣言対象区域を往来する場合は、感染防止対策を徹底し、対象区域となる都道府県の要請に従うよう協力要請

(2) 飲食について

- ・緊急事態宣言対象区域から参加者の来県が想定される催物の前後における大人数での会食等を控えるよう協力要請

2. 事業者への協力要請（法第24条第9項）

- ・香川県に本社・本店が所在する企業に対し、緊急事態宣言対象区域に有する支社・支店等におけるテレワークの徹底について協力要請

3. 催物（イベント等）の開催（法第24条第9項）

- ・緊急事態宣言対象区域から参加者の来県が想定される催物の主催者に対し、催物の前後における大人数の会食等を控えるよう呼びかけることの協力要請

4. 緊急事態宣言対象区域から来県される方への協力依頼（法によらない協力依頼）

- ・お住まいの地域において、感染拡大の状況を踏まえ、地域外への移動についてどのような対応が求められているのかを十分確認するよう協力依頼
- ・体調が悪い方や来県前2週間以内に『感染リスクが高まる「5つの場面」』に該当するような感染リスクの高い行動をとった方は、本県への帰省や旅行等を控えるよう協力依頼